

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                             |           |    |
|----------------|-----------------------------|-----------|----|
| ○事業所名          | こどもサポート教室「きらり」相模大野校         |           |    |
| ○保護者評価実施期間     | 2025年 1月 15日 ～ 2025年 1月 31日 |           |    |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                      | 41 (回答者数) | 29 |
| ○従業者評価実施期間     | 2025年 1月 15日 ～ 2025年 1月 31日 |           |    |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                      | 5 (回答者数)  | 5  |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 2月 5日                 |           |    |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること                            | 工夫していることや意識的にやっている取組等                                                           | さらに充実を図るための取組等                               |
|---|-----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 1 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っている事。                               | 一人に対して個別で療育を行っているため、支援の内容やその時の状態に合わせて毎回プログラムを考えている。                             | 保護者様との面談で今後の取り組みについて相談し、支援の内容をより充実したものにしていく。 |
| 2 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども達の活動に合わせた空間となっている。                   | 毎日清掃を実施している為、清潔を保つことが出来ている。こどもたちの支援プログラムに合わせて場所の広さをある程度調節することで適切な空間を作ることが出来ている。 | 道具等の古いものを新しくして綺麗なものにする。                      |
| 3 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されている。 | 日頃の支援での様子を保護者様にフィードバック、児童発達管理責任者へ記録等で共有を行い、こどもの理解を深めている。                        | 指導員一人一人の支援の質の向上、こどもの目標をより明確にする。              |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること                          | 事業所として考えている課題の要因等                    | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                                                             |
|---|---------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 職員の配置数                                                              | 職員間の関係性、事業所内の業務内容、作業環境               | 職員間の良い関係性を繋げる意識作り、作業しやすい業務内容への改善                                                 |
| 2 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対する発信。 | 職員の業務量が多い為、発信をする時間が作ることができていない。      | 職員の配置数、業務内容の改善、発信しやすい環境作り                                                        |
| 3 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援が出来ていない。         | 保護者同士の交流の機会を作れていない、交流をするための時間や場所がない。 | 場所はビデオ通話を利用などで対応することができる。スタッフも参加しやすいような環境と内容作り、保護者会の企画を検討する等参加したいと思ってもらえる運営を考える。 |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」相模大野

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 41名

回収数 29名

|                                  |    | チェック項目                                                                                                                              | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | わからない | ご意見                                                      | ご意見を踏まえた対応                                               |
|----------------------------------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---------------|-----|-------|----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| 環境・<br>体制<br>整備                  | 1  | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。                                                                                                      | 20 | 8             | 1   | 0     | もう少し広いスペースが取れるといいかもしれませんが個別支援の際は充分であると思います。              | 個別の際も、利用人数が少ない時間帯であればパーティションを脇に片づけるなどして場所を広く取りたいと思います。   |
|                                  | 2  | 職員の配置数は適切であると思いますか。                                                                                                                 | 17 | 4             | 3   | 5     | 職員の人数が少ないです。                                             | 安心して頂けるように職員の増員を企業として取り組んでいます。                           |
|                                  | 3  | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。                                        | 19 | 7             | 0   | 3     | 周りの声が聞こえすぎるが、その中で集中する力をつけられ良い                            | 完全個室ではないためご不便をおかけしますが、今後も過ごしやすい空間が提供できるように意識していきます。      |
|                                  | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。                                                                     | 28 | 0             | 0   | 1     | ご意見なし                                                    |                                                          |
| 適切<br>な<br>支<br>援<br>の<br>提<br>供 | 5  | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。                                                                                    | 28 | 1             | 0   | 0     | 未就学の時から通っていますが、だいぶ落ち着いてきたと感じます。先生方のお力添えのおかげです。ありがとうございます | ありがとうございます。今後も目標やその時の課題点などの引継ぎをしっかりと行い支援に繋げていきます。        |
|                                  | 6  | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。                                                                                        | 29 | 0             | 0   | 0     | ご意見なし                                                    |                                                          |
|                                  | 7  | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。                                                         | 28 | 1             | 0   | 0     | 息子の課題を的確に把握し、計画していただいていると思います。                           | 保護者様に支援等の状況を伝え、生活面についてお話を伺い、理解を深めるよう今後も努めて参ります。          |
|                                  | 8  | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 29 | 0             | 0   | 0     | 保護者の悩みも受け止めて支援してくださっています。                                | 今後も各項目に対して、保護者様からも納得して頂ける支援内容を提供するように心掛けて参ります。           |
|                                  | 9  | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。                                                                                                    | 29 | 0             | 0   | 0     | ご意見なし                                                    |                                                          |
|                                  | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。                                                                                                 | 27 | 2             | 0   | 0     | 学校での困り感などすぐ対応してくれています。                                   | 利用者様の現在の状況や今後に向けて、その都度、活動プログラムを提案していきます。                 |
|                                  | 11 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。                                                                                            | 8  | 1             | 13  | 7     | 我が家は利用していないが、利用機会は用意されている                                | 実施はあまりできていない状況で用意が難しい状況の為、今後どのようにするか検討し、利用者様にも周知して参ります。  |
| 保<br>護<br>者<br>へ<br>の<br>説<br>明  | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。                                                                                     | 25 | 2             | 1   | 1     | ご意見なし                                                    |                                                          |
|                                  | 13 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。                                                                                               | 28 | 0             | 0   | 1     | ご意見なし                                                    |                                                          |
|                                  | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。                                                                | 13 | 1             | 4   | 11    | 参加できていませんが、LINE等でお知らせがあります。                              | 開催数が少ない為、今後は様々な内容でプログラムを提供していけるように心掛けて参ります。              |
|                                  | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。                                                                                | 28 | 1             | 0   | 0     | 毎回、振り返りの後に話をする時間を設けていただいています。                            | 今後もフィードバックや連絡を取りやすい環境を提供していけるように心掛けて参ります。                |
|                                  | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。                                                                                                     | 27 | 1             | 0   | 1     | しっかりとお話を聞いて下さるので有り難いです。                                  | 定期的な面談の実施や、フィードバック時に子育てに関する相談を受け付けていきます。                 |
|                                  | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。                                                                                                         | 28 | 1             | 0   | 0     | ご意見なし                                                    |                                                          |
|                                  | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。          | 6  | 0             | 9   | 14    | あっても参加が難しいので、なくても満足しています。                                | 開催回数、参加人数が少ない為、今後より参加しやすい内容で検討、実施していきます。開催したことを周知していきます。 |

|         |    |                                                                                                      |    |   |   |    |                                                                                                      |                                                      |
|---------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|---|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
|         | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 22 | 2 | 0 | 5  | ご意見なし                                                                                                |                                                      |
|         | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。                                                              | 26 | 2 | 0 | 1  | LINEでその日の体調などお知らせするとすぐに既読となり、安心感があります。ただ、LINEのメッセージに先生のお名前を最後に記入して頂きたいです。どの先生とお話しているのかわからず、違和感があります。 | 来所頂いた際だけでなく、LINEでもその都度、受け入れられる環境を継続していきます。           |
|         | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。                           | 15 | 6 | 1 | 7  | 工作作りのイベントは毎回楽しみにしています                                                                                | SNSでの発信が出来ていないことが多い為、利用者様以外にも知って頂く機会を作っていけるようにします。   |
|         | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。                                                                           | 22 | 4 | 1 | 2  | 個人情報（電話での対応内容、職員の話し声）が聞こえて来る事があった。                                                                   | 今後も個人情報の取扱いに注意を続けて参ります。                              |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。         | 18 | 3 | 1 | 7  | マニュアルは配布して頂きました。訓練はうちの子の支援日には実施なし                                                                    | 訓練があまり実施出来ない状況の為、訓練の実施と周知を行っていきます。                   |
|         | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。                                                         | 8  | 3 | 3 | 15 | うちの子の支援日には行っていないと思う                                                                                  | 訓練やその他必要な訓練の実施、結果報告を行えるようにして参ります。                    |
|         | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。                                     | 21 | 0 | 1 | 7  | ご意見なし                                                                                                |                                                      |
|         | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。                                      | 15 | 0 | 1 | 13 | 怪我は無し                                                                                                | 保護者様が来所された際には直接、来所されなかった際には電話又はLINEで説明することを徹底して参ります。 |
| 満足度     | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。                                                                                 | 29 | 0 | 0 | 0  | 支援内容を子どもの状態に伴いよく考えてくださっています。                                                                         | これからも安心して通所出来る事業所を心がけていきます。                          |
|         | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。                                                                                   | 26 | 3 | 0 | 0  | どの先生も話しやすく楽しみにしています                                                                                  | 子どもから「行きたい」と思ってもらえるような支援や環境づくりを今後も模索していきます。          |
|         | 29 | 事業所の支援に満足していますか。                                                                                     | 27 | 2 | 0 | 0  | 本人に合わせた丁寧な指導に、大変満足しています。これからも通わせたいです。                                                                | 利用者様に今後も利用したい、事業所を知って頂いた方に利用したいと思って頂ける支援を目指したいと思います。 |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名               |    | 公表日                                                                                                                                                  |    |     |                                                   |                                                 |
|--------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|---------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| こどもサポート教室「きらり」相模大野 |    | 2025 年 2 月 15 日                                                                                                                                      |    |     |                                                   |                                                 |
|                    |    | チェック項目                                                                                                                                               | はい | いいえ | 工夫している点                                           | 課題や改善すべき点                                       |
| 環境・体制整備            | 1  | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。                                                                                                                         | ○  |     | パーテーションを使用し、利用状況に応じてスペースを変更している                   | パーテーションを倒したくなってしまうことがある為、その際の対応方法の検討。           |
|                    | 2  | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。                                                                                                                     | ○  |     | 一日の中で配置数に問題はない。                                   | 業務内容の改善、職場環境の見直しが必要。常にギリギリの配置数である為、改善していく必要がある。 |
|                    | 3  | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。                                                                | ○  |     | こどもに応じて個室に案内するなど、環境の設定をすることが出来る。                  | 設備など何があるのか情報を伝えていない為、情報を伝えていく。                  |
|                    | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。                                                                                                | ○  |     | 使用したものは消毒等行い、綺麗な状況を保つよう心掛けている。                    | 道具の整理が出来ていないことがある為、整理しやすい環境作りを行う。               |
|                    | 5  | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。                                                                                                           | ○  |     | こどもの特性や状況に応じて個室を利用できる環境になっている。                    | 指導員から案内して利用している為、利用者から使いたいと言いやすい環境を作る。          |
| 業務改善               | 6  | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。                                                                                                       | ○  |     | 毎日ミーティングの時間を設定しているため、そこでPDCAサイクルに参加することが出来る。      | その日休みの職員がいるとその職員には伝わっていないことがある為、伝達方法の見直し。       |
|                    | 7  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                                 | ○  |     | 評価表の集計結果を職員に見えるようにすることで、意見を把握することが出来る。            | もっと早く職員に共有して改善に向けて考えることが出来る時間を用意したい。            |
|                    | 8  | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                                               | ○  |     | 毎日のミーティングで設けており、業務改善に繋げている。                       | 職員同士がより本音を伝えやすい環境で改善に向けて取り組める環境作りをする。           |
|                    | 9  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。                                                                                                                     | ○  |     | 他校舎や上司などの評価を受け、業務改善に繋げている。                        | 上司、管理者等のやりとりが中々すぐにはできない事がある。                    |
|                    | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。                                                                                                    | ○  |     | 会社で取り上げた研修に参加することが出来る。                            | 研修内容をすぐに実践しやすいような業務内容、環境を作る。                    |
| 適切な支援              | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。                                                                                                                              | ○  |     | 作成して支援を行い、内容を利用者にフィードバックして公表している。                 | より利用者にわかりやすく、日常でも利用者が取り組みやすい内容を公表する。            |
|                    | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。                                                                               | ○  |     | 1人1人個別にアセスメント、計画を作成している。                          | どの職員も理解しやすい内容で納得できる計画を作成する。                     |
|                    | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。                                                                 | ○  |     | 職員同士で気になる点や得意な事を検討することが出来る。                       | 書類を職員全員で確認できるような環境を作る。                          |
|                    | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。                                                                                                              | ○  |     | 支援記録を通じて計画を共有することが出来る。                            | 職員同士で計画について相談しやすいようにミーティングなどを設定していく。            |
|                    | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。                                                                  | ○  |     | ミーティングを実施することで日々確認しながら業務を進めることが出来る。               | ツールがあまり充実できていない為、その時に応じたツールを用意する。               |
|                    | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○  |     | 設定し、共有しながら支援内容を設定することが出来る。                        | 支援内容をより簡略化し、具体的に分かりやすい支援内容になるように進めていく。          |
|                    | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。                                                                                                                               | ○  |     | 集団支援や日々の支援を個々から発信することにより、1つの目標に対してプログラムの立案が出来ている。 | チームでの立案をより深く行えるような環境設定、時間を用意する。                 |

|                                                          |    |                                                                                    |   |   |                                                 |                                                    |
|----------------------------------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------|---|---|-------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| 援<br>の<br>提<br>供                                         | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。                                                           | ○ |   | 個々のプログラム立案により、固定化されていない。                        | こどもからもやりたいことを提示できる時間を用意していく。                       |
|                                                          | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。                           | ○ |   | 支援記録や職員のミーティングを参考に計画を作成し、支援が行われている。             | 状況によって柔軟に対応しながら進められる支援が行うことが出来るように計画を作成し、支援を行っていく。 |
|                                                          | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。                    | ○ |   | 毎日ミーティングを実施しながら進めることができている。                     | ミーティングの質の向上。打ち合わせの際のやりとりの内容をあらかじめ周知する。             |
|                                                          | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                             |   | ○ | 支援終了後に業務時間が終了してしまう為、共有は次の日に実施している。              | 打ち合わせができない分、日ごろのやりとりを多くできるような環境作りを目標に行う。           |
|                                                          | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。                                             | ○ |   | 日々記録を取り、次の支援に繋げている。                             | 記録内容が細かすぎるところがある為、より簡潔に分からいやすい記録が作成出来るように設定する。     |
|                                                          | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                              | ○ |   | 利用者様と面談も含め、定期的に見直しを行うことが出来ている。                  | 面談の内容を書類にまとめ、職員間で共有しながら見直しを進めていく。                  |
|                                                          | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。                                       | ○ |   | 様々な活動をプログラムに組み込むことで支援を行うことが出来ている。               | 職員間でより理解を深めながら日々の支援を提供する。                          |
|                                                          | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。                               |   | ○ | 基本的なプログラムは事前に決まっているため、こどもが自分で発信しないと自己決定が出来ない状況。 | プログラムの中にこどもが自分でやりたいことを指導員に提案できる時間を設定する。            |
| 関<br>係<br>機<br>関<br>や<br>保<br>護<br>者<br>と<br>の<br>連<br>携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                           | ○ |   | 支援や直接関わりがある者が参加している。                            | 参加できるタイミングや経験のある職員が少ない為、今後参加できるタイミングを増やしていく。       |
|                                                          | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                         | ○ |   | 小児科との連携し、支援を行う体制を整えている。                         | 連携を取る機会はまだ多くない為、連携が取れる際には積極的にやっていく。                |
|                                                          | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。            | ○ |   | 関係機関連携を中心に情報共有を行っている。                           | 情報をまとめて職員全員が確認できる状態にしていく。                          |
|                                                          | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。                           |   | ○ | 就学前の通っていた場所との情報共有はあまり出来ていない。                    | 日頃から連絡を取りやすい関係作りを目指して情報共有の相互理解に努める。                |
|                                                          | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。                   | ○ |   | こちらから連絡し、事業所の活動状況などを提供することが出来ている。               | なるべく早い段階で連携を取り、こどもの今後につながるようにサポートしていく。             |
|                                                          | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。                            |   | ○ | 連携を取ることが出来ていない。                                 | 地域との連携を図る機会を増やす。                                   |
|                                                          | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。                                             |   | ○ | 事業所内で完結してしまっている為、活動する機会がない。                     | 利用者様に通っている場所を中心に職員が向かって確認できるような環境設定をしていく。          |
|                                                          | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。                                                            |   | ○ | 参加出来ていない。                                       | 機械を作り、今後の方針や情報共有を図っていく。                            |
|                                                          | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                                   | ○ |   | 支援後にフィードバックにて伝え合い、共通理解を持つことが出来ている。              | フィードバックの時間に余裕があまり無い為、余裕をもった支援内容にしていく。              |
|                                                          | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。       | ○ |   | 面談やチラシ等を利用して行っている。                              | 回数があまり作れていない為、今後より参加しやすい内容を提供していく。                 |
|                                                          | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。                                               | ○ |   | 日々のフィードバック時にそれぞれ説明を行っている。                       | 面談などの回数を増やし、保護者様が理解しやすい説明をどのスタッフも出来るようにしていく。       |
|                                                          | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | ○ |   | フィードバックや面談時に確認することが出来る。                         | 面談を取りやすい環境を作り、家族の意向を受け入れやすいようにしていく。                |
|                                                          | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。                         | ○ |   | 計画の更新の際に同意を得ている。                                | 今後も説明を丁寧に行い、同意を得ることを徹底する。                          |

|          |    |                                                                                            |   |   |                                           |                                |
|----------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|-------------------------------------------|--------------------------------|
| 保護者への説明等 | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。                                              | ○ |   | フィードバック、面談を通じて助言、支援を行っている。                | 今後も面談を行いやすいように提供していく。          |
|          | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | ○ |   | 時期を見て今後の状況や支援の目標について保護者会等で交流する機会を設けている。   | 回数は多くないので、機会を増やしていく。           |
|          | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                       | ○ |   | 職員同士のミーティングで苦情等で共有し、対応している。               | 適切な対応とともに出来る事を今後に繋げていく。        |
|          | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。                   |   | ○ | 定期的に発信等することが出来ていない。                       | 気軽に更新しやすい環境や状況を設定する。           |
|          | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。                                                                        | ○ |   | ロッカー等で保管し、取り扱いに注意している。                    | 遮るものがパーテーションのみの為、会話の内容に注意していく。 |
|          | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。                                                      | ○ |   | フィードバックや連絡を取り合いながら、意思の疎通、情報伝達のための配慮をしている。 | 連絡が取りやすいように今後も情報伝達を大切にしていく。    |
|          | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。                                                      |   | ○ | 図っていない。                                   | 地域の事業運営のタイミングがあれば図ってみたい。       |
| 非常時等の対応  | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | ○ |   | 毎月、避難訓練を実施している。マニュアルもしっかりと策定している。         | プログラムの中に訓練の実施を入れ、周知していく。       |
|          | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | ○ |   | 毎月、避難訓練を実施している。BCPの策定も法人本部主導で実施している。      | 訓練場所の確認、避難訓練などの実施、周知を行っている。    |
|          | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。                                                        | ○ |   | 利用開始時に状況を記入してもらって確認をしている。                 | 定期的に再確認できる時間を用意していく。           |
|          | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。                                                     |   | ○ | 食べ物を扱わない為、対応をすることがない。                     | 課題、改善点なし                       |
|          | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | ○ |   | 研修は出来ているが、訓練が出来ていない。                      | プログラムの中に訓練の実施を入れ、周知していく。       |
|          | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  | ○ |   | 利用を始める際に説明して周知している。                       | いつでも確認が出来るように今後も周知を行っている。      |
|          | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。                                                    | ○ |   | 職員が入力、確認できるようにし、共有することで再発防止に向けて検討出来ている。   | 検討し、今後につながるように対策を考えていく。        |
|          | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。                                                       | ○ |   | 会社での研修により確保できている。                         | 今後も会社の研修に参加し、取り組みを行っていく。       |
|          | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。           | ○ |   | 利用開始時に説明し記載している。                          | 今後も説明、記載を行っていく。                |